

G 解説ポイント

- 1 クラスタ化防止のために体調不良時の初期対応が重要
専門職としての判断、事業者としての考え方について(基本的に体調不良時は休むことが自分だけでなく事業所を守ることになるという意識)徹底的に共有することが重要。実際の休暇制度の充実させることも必要、
- 2 PCR検査をうけにくい、在宅患者さんの検査体制
 - 濃厚接触者は基本的に保健所が実施(あるいは委託を受けた医療機関)
接触者の検査やより速く結果を知りたい場合は、主治医等に相談
 - 往診でのPCR検査が可能な医療機関に委託
 - 利用者の濃厚接触者2名 21日まで休み 担当CMにこの間の暫定ケアプラン作成を依頼
- 3 職員に感染者・濃厚接触者が出た場合の対応、事業再開の基準
 - 通所やショートステイ、施設など、集団の環境で行うケアについては濃厚接触者のみならず、接触者を含めた広い検査とフォローを行った上で事業再開を行うことが望ましい(日の指定はない)
 - 環境清掃(特にハイタッチサーフェス)を行う